



かみ

歴史と継承

山梨県立大学 杉山ゼミ

活動経緯・問題意識

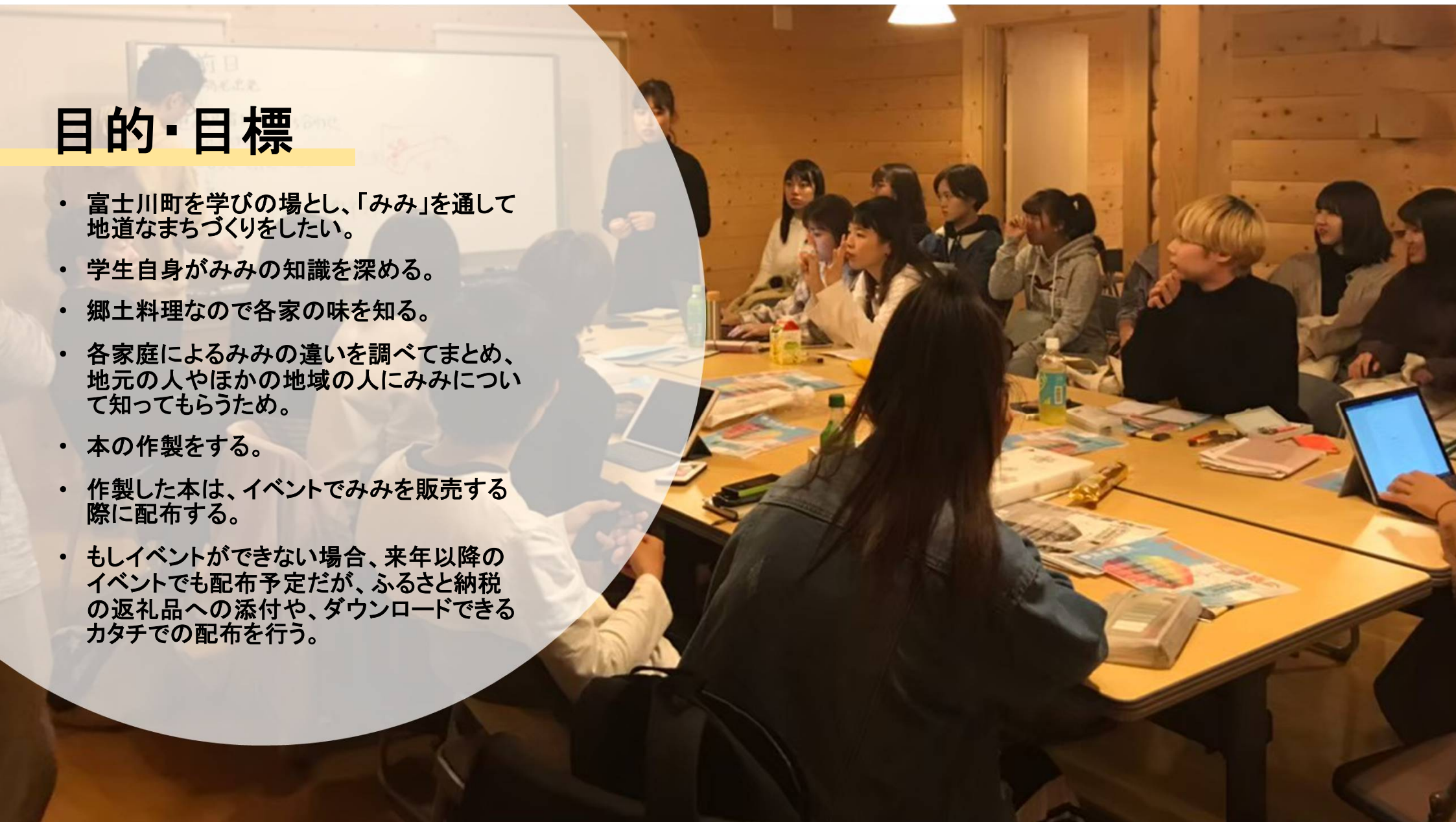
過去二年間富士川町を盛り上げるために拓大と県大合同で活動してきた中で、学生自身が「みみ」についてあまり知らないことに気付いた。また、地域の人でも「みみ」についての正しい情報を知っている人が少ないことがわかった。

本来”郷土料理”である「みみ」は家庭で食べられている。その歴史と継承されきた調理方法を広めたい。

みみ打ち体験などを通して「みみ」が好きになった学生たちはこの山梨の伝統的な食べ物を絶やしたくないと思ったため、「みみ」をより多くの人に知ってもらうための活動を行いたいと考えた。

目的・目標

- 富士川町を学びの場とし、「みみ」を通して地道なまちづくりをしたい。
- 学生自身がみみの知識を深める。
- 郷土料理なので各家の味を知る。
- 各家庭によるみみの違いを調べてまとめ、地元の人やほかの地域の人にみみについて知ってもらうため。
- 本の作製をする。
- 作製した本は、イベントでみみを販売する際に配布する。
- もしイベントができない場合、来年以降のイベントでも配布予定だが、ふるさと納税の返礼品への添付や、ダウンロードできるカタチでの配布を行う。



主な活動内容

- 7月 みみの歴史を知る・みみ打ち体験
アンケート制作
- 8月 本の構成案を練る・アンケート配布(後半)
- 9月 取材先家庭との日程調整・インタビュー
- 10月 インタビュー(家庭に行き、取材・写真撮影)
- 11月
- 12月 本の作成

作成した本について

イベント、ふるさと納税返礼品での配布
富士川町HPでダウンロードできるようにする。

イベントとは ▶ □ 昨年はみみを実際に
信玄公祭り、甲州ふじかわ祭り、
ダイヤモンド富士でふるまった。

アピールポイント

1. 自分たちが関わってきた富士川町の郷土料理であるみみについてさらに広めたい。良さを知ってもらいたい。
 1. 学生が実際に地域の人と交流し、取材のお願いやインタビュー、本の作製を行う。
 2. 「主な活動内容」に記載した予定表をもとに、拓殖大学の徳永ゼミナールと合同で事業を行う予定。
 3. 予算内で活動可能。本の作製に関してはクラウドファンディングを利用する予定。
 4. 今後の活動において、より深い理解を持った上で発信できる。また、郷土料理としてのみみを通して、富士川町のことを知ってもらい、もっと好きになってもらう。
- 作成した本は、イベント（開催可能であれば去年は3つのお祭りでみみを販売・提供）での配布、富士川町のみみのふるさと納税の返礼品に添付、富士川町役役場のHPからダウンロードできるようにする。

その他

昨年度も富士川町役場には、
山梨県立大学と拓殖大学の部屋
も作っていただき、協力して活動をし
てきました。

今回の活動も富士川町役場と協
力して活動したいと思います。

